

映える加賀野菜“Vegetable café”

団体名 ● vegetable caféーベジカフェー / 代表者名 ● 北浜杏珠(女子短期大学部経営実務科2年)

はじめに

加賀野菜は、生産農家数の減少による出荷量の減少が課題となっている。この現状から、伝統ある加賀野菜の魅力再認識するとともに、多くの人に魅力を発信する活動を行おうと考えた。今年度は、加賀野菜の中で最も栽培歴史の長い加賀れんこんに着目し、県内外に魅力を発信していくことを目標に活動を行った。

活動内容

JA 金沢市加賀れんこん部会協力のもと、さまざまな活動に参加した。参加した活動や企画したイベントは下記の通りである。

日時	内容
5月－11月	加賀野菜をモチーフとしたパウンドケーキの開発
10月16日	河北潟れんこん圃場にて収穫体験参加
11月12日、13日	JA 金沢市ほがらか村本店での販促活動およびれんこんパウンドケーキ販売活動
12月10日、11日	JA キッチンにてベジカフェ(料理教室&販売会)開催
1月29日	千坂公民館にてれんこん食文化交流講座参加

成果、結果の考察

商品開発では、女子短大生の視点から加賀れんこんを使ったスイーツがヘルシーで人気が出るのではないかと期待から、パウンドケーキを開発した。販売を実践した結果、学内外問わず非常に多くの反響をいただいた。第一次加工の際、パウダーにするかペーストにするか、試作を繰り返した。また、固形のれんこん加工を行ったものの、工場での焼き加減やれんこんの太さの問題があり、多くの困難があった。その結果、れんこんをパウダー状にし、生地に練りこむことでもちもちとした食感のパウンドケーキ開発に成功した。

また、JA 金沢市加賀れんこん部会が所有するキッチンカーの壁面デザインを考案した。加賀れんこん



◀ケーキの試作風景



▲完成したケーキのチラシ



◀キッチンカーをデザイン

のイメージを彩りのある愛らしい花柄になるよう工夫した。

今後の課題、展望

加賀れんこんの魅力を多くの方に知ってもらいたいという気持ちはあるが、商品開発や販促活動において様々な障壁があることを学び、活動を続けるうえで様々なプランを出し、私たちの目的達成に近づける必要があると考えた。販促活動での事前準備として、活動場所のニーズや客層の下調べ、経費と目的とのすり合わせなど、多くの課題が見つかった。今後は、PR活動の継続をしながら新たな商品開発、販促活動地域の拡大を進めていきたいと考えている。



カフェで料理教室



河北潟れんこん圃場で収穫体験